

個別施設計画

策定年月 | R2.1

施設名	倉敷南高等学校		所在地	倉敷市吉岡330		
敷地面積	47,607.00 m ²		棟数	37 棟 (計画記載対象 6 棟)		
延床面積	16,566.15 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため					
【想定される自然災害】						
予想震度 6弱 津波 ー 浸水 0.5m未満						
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)		
	436,079 kWh	3,813 m ³	5,270 m ³	144 0		
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所(土砂災害、高潮、地震、津波)					

1 施設内建物の概況

名 称	本館(1棟)1	南棟(14-2棟)7-1,2	渡廊下(15棟)
築年(西暦)	1974 年	1975 年	1975 年
構 造	鉄筋コンクリート造 4 階	鉄筋コンクリート造 4 階	鉄筋コンクリート造 2 階
建築面積	1,263.01 m ²	1,484.35 m ²	111.00 m ²
延床面積	5,052.29 m ²	5,942.92 m ²	222.00 m ²
主要な用途 (室名等)	保健室 化学教室 普通教室	被服教室 美術教室 普通教室	渡廊下
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※2 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	体育館(20棟)11	生徒会館(27-1棟)12-1	格技場(6棟)6
-----	------------	-----------------	----------

築年(西暦)	1977年	1980年	1974年
構造	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階
建築面積	1,573.08 m ²	714.01 m ²	378.45 m ²
延床面積	2,013.93 m ²	1,009.50 m ²	434.54 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	同窓会館	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館(1棟)1	・設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 ・長寿命化改修を行う。
南棟(14-2棟)7-1,2	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
渡廊下(15棟)	予防保全を図る。
体育館(20棟)11	予防保全を図る。
生徒会館(27-1棟)12-1	予防保全を図る。
格技場(6棟)6	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 長寿命化改修
 屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
 (1棟)2024年度以降設計・施工
- 2 設備等更新
 劣化状況を確認しながら順次更新を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館(1棟)1	長寿命化改修								設計・施工 6		
	設備等の定期更新				トイレ 洋式化						
南棟(14-2棟) 7-1,2	設備等の定期更新				トイレ 洋式化						
渡廊下(15棟)	予防保全			予防保全を図る。							
体育館(20棟) 11	予防保全			予防保全を図る。							
生徒会館(27-1棟) 12-1	予防保全			予防保全を図る。							
格技場(6棟)6	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

総額 6億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.9	本館(1棟)及び南棟(14-2棟)において、設備等の定期更新を追加